

“肥薩線（川線）とくま川鉄道・球磨川の沿線 31 の駅を物語る”

「球磨川の駅・ものがたり」

Story of Kuma River Stations

発刊のご案内



このたび、地元月刊誌「くまがわ春秋」紙上に2年半にわたって連載した「球磨川の駅・ものがたり」が、お陰様で上梓（本刷り）の運びとなりました。

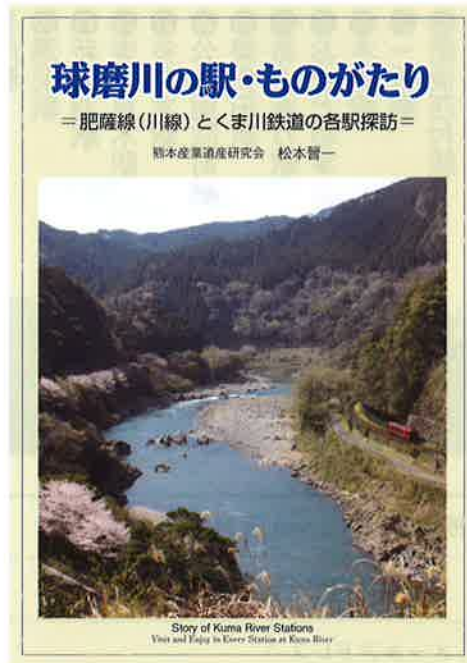
今年の令和元年3月、10月、11月には、湯前線開通95周年、くま川鉄道開通30周年、肥薩線（旧鹿児島本線）開通110周年の節目を迎えます。この節目に本が出来たことを感謝し、取材そして発刊にご協力を頂いた多くの皆様方にお礼を申し上げます。特に本年3月にはJR九州の観光列車サミットが人吉駅機関車庫で開催され、その折に地元九州の列車たちに造詣の深い、デザイナーの水戸岡鋭治先生に推薦文をお願いして、刊行に華を添えて頂きました。

この本の特徴は球磨川の右岸左岸に現存する明治・大正・昭和の各駅と、そこに在る鉄道遺産、産業遺産、自然遺産と歴史遺産の現況、そして地元沿線の人々の物語を、平成28年4月から平成30年夏までの2年半、その時間を切り取ったドキュメンタリーなのです。

大事なものは、この地の由緒ある鉄道の本래の価値を知ってもらうこと、球磨川の流れを走る鉄道の時空の楽しさ・面白さを味わっていただくことです。

この2つの路線は、すべてが球磨川でつながっています。どうぞ、この本を片手に、特急そして各駅停車で、夫々の駅と町の風情、球磨川の美しさ、温泉、焼酎、さらには、この地の“お人よし”と巡り逢う楽しみ、を味わって頂ければ幸いです。

熊本産業遺産研究会 松本晋一



31 駅を来て見て乗って楽しむ！
“Riding and Enjoy The 31 Stations”

題名：「球磨川の駅・ものがたり」
副題：肥薩線（川線）とくま川鉄道の各駅探訪
著者：松本晋一（熊本産業遺産研究会）
発売：令和元年8月1日
仕様：A5版 212頁 オールカラー
定価：1,620円（税込）
送料：1冊180円 2～4冊360円
発行・注文先：人吉中央出版社
TEL & Fax 0966-23-3759

著者連絡・注文先：松本歯科医院

熊本県人吉市九日町115（〒868-0004） Fax：0966-25-1360